

株オハラにおける健康づくり概要

はじめに

～株オハラについて～

昭和10年 東京蒲田に(株)小原光学硝子製作所として創業

昭和19年 相模原市に移転

昭和60年(株)オハラと社名変更し現在に至る

製造製品：カメラや顕微鏡、天体望遠鏡、ビデオ機器等のレンズに使用される光学ガラスの他、特殊ガラス・セラミックスとしてハードディスク基盤等

「環境にやさしい素材と技術で未来を想像する」をテーマに多分野に貢献出来る開発型素材メーカーを目指している。従業員約450名。

<安全衛生管理体制>

・安全衛生担当部署

環境安全課・人事課

・産業医

嘱託の産業医：1名 メンタル相談医：1名 各々、月一回来社

・安全衛生スタッフ

安全管理者11名 衛生管理者3名

・安全衛生組織

(1) 安全衛生委員(1回/月)

構成員：会社側5名、組合側4名、産業医、安全衛生推進員等)

安全衛生巡視：構成員で順番に職場巡視を1/月に実施。

諮問委員会：有害物管理委員会、R I 管理委員会

<作業・作業環境対策>

A. 熱中症対策

今夏の取り組み

- ・既存の測定データや作業性を考慮したサプリメント配布該当部署の拡大と均等化
- ・支給時期の延長
- ・効果的な飲料以外のサプリメントの導入
- ・4月下旬からの全社的な熱中症教育実施

B. 有害物による健康被害対策

- ・マスクのフィットテスト実施 2回/年

<健康診断受診対策>

(1) 定期健康診受診率向上と検査漏れ防止に向けた取り組み

A. 健診の時間割の工夫

社員の生活習慣病健診タイム

社員の若年健診タイム

若年塵肺健診受診者タイム

派遣社員の年齢毎の受診タイム

～ それぞれに対する女性タイム

～ を考慮した上で、部署毎・交替勤務毎の時間割を作成・配信

B. 年齢・社員種別健診時間と受診項目の説明

C. 便潜血検査についての説明

D. 胃のバリウム検査についての説明

Aの時間割と同時にB～Dも配信

<生活習慣病予防対策>

- A. 人間ドック受診費用の補助
- B. 健診後の結果フィードバック面談の実施
- C. 家族の生活習慣病予防への取り組み
- D. 特定保健指導受診の推進

<ノーカーデー実施>

1回 / 月車通勤以外での通勤を推奨

<海外派遣者健康管理>

1回 / 2月疲労調査と健康情報配信

<過重労働対策>

- A. アンケートとチェックリスト配布
 - ・ 2ヶ月続けて45時間 / 月以上の超過勤務者
 - ・ 60時間以上 / 月の超過勤務者
 - ・ 80時間以上の超過勤務者
- B. 管理職の疲労調査開始

<広報活動>

- ・ 社内報
- ・ 健康新聞
- ・ 健康ボードの設置

おわりに

社員450人という規模は、健康増進に取り組む際に、一人一人の顔や性格が分かった上で働きかける事の出来ず。仕事をしながら健康的な生活を一人でも多くの社員が送れる様に、今後も社員の特徴に合った方法で支援していければと考えています。